

(調査様式1)

## 1. 自己評価及び外部評価結果

作成日

平成24年10月31日

### 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	第4690200102号
法人名	特定非営利活動法人こしき風林火山
事業所名	グループホーム多喜人
所在地	鹿児島県薩摩川内市里町里470番地 (電話) 09969-3-2127
自己評価作成日	平成24年10月31日

※事業所の基本情報は、WAMNETのホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="http://www.wam.go.jp/">http://www.wam.go.jp/</a>
-------------	---

### 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人NPOさつま
所在地	鹿児島県鹿児島市下荒田2丁目48番13号
訪問調査日	平成24年11月20日

### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

薩摩半島の西方にある、手つかずの自然が残る甑島・里町。里町の中でも有名な観光名所、武家屋敷通りの中に当施設がある。利用者は非常に静かな環境の中で、落ち着いた生活を送ることができる。

地域特性上、昔からのなじみの方々が近隣にたくさんおられるため、利用者の孤立性は軽減されると考える。外出時も地域住民より度々声を掛けられ、昔話に花を咲かせたり、住み慣れた地域の中で生活している実感を利用者は持つことができる。

### 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

当ホームは、美しく広がる海、緑と自然いっぱいの甑島・里町の恵まれた環境の中にある。周辺は、かつての武家屋敷が連なる通りに面し、落ち着いた閑静な住宅地にホームは建っている。利用者と地域住民との交流の機会も多く、農産物の差し入れ提供があったり、地域行事への参加も積極的に行われている。地域住民からも日頃から声掛けや訪問・対話も行われている。家庭的な雰囲気であり、職員も若く活気が感じられる。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	施設内で一番目のつくところに掲示しており、朝礼や職員会議などで随時確認、共有している。	事業所独自の理念をホール中央に掲示し、誰もが見ることができる。職員会議や朝礼時には管理者、職員ともに確認し、日々のサービスに活かしている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	当該自治会にも加入しており、近隣住民と接する機会が多い。また、地域行事へも可能な限り参加している。	自治会に加入し、自治会の事業や催しに参加するなど地域社会の一員として交流している。地域住民からの野菜の差し入れや訪問なども多く、地元とのつながりも大切にしている。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている	公での活動はないが、各職員、日々の業務の中で理解している範囲でおこなっている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進委員の方々も利用者を昔から知っておられる方が多く、利用者を自分の家族のように考えてくださっている。	運営推進会議は2ヵ月に1度、定期的で開催している。行政、消防、警察、地域住民、民生委員、家族代表らが意見を出し合い、サービス向上に活かしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	薩摩川内市役所里支所が近くにあり、各種申請等で足を運ぶことが多い。その際に情報交換をおこなっている。	薩摩川内市役所里支所を訪問している。日頃から事業所の現状を報告したり情報交換に努め、協力関係を築けるように取り組んでいる。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束廃止を絶対とし、身体拘束廃止委員会を設置し、委員会活動や勉強会等を通して、共通理解をおこなっている。	身体拘束をしないケアを事業所の方針として定めている。今年から新たに身体拘束廃止委員会を設置して研修や自主学習を通じて職員間の共通認識を図っている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	身体拘束廃止委員会は虐待防止委員会も兼ねており、5つの虐待を正しく理解し、防止につとめている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	権利擁護や成年後見制度については、まだまだ詳しく理解できていない。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得  契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入所申込時は原則本人、またはご家族に来園していただき、重要事項説明や施設見学などの後、記入していただいている。入所時においても再度重要事項説明をおこない、契約している。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映  利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	常時玄関に意見箱を設置しているが、投函がないため、ご家族面会時や自宅訪問時などに確認するようにしている。	いつでも自由に意見や苦情が言えるよう、玄関に意見箱を常設している。日頃から利用者や家族に何でも言ってもらえるような雰囲気づくりに取り組んでいる。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映  代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	職員会議時を中心に、意見交換の場を設けている。	職員会議を定期開催し、意見や要望を聞く機会を確保している。管理者は（介護）職員に対して日頃から、コミュニケーションを図るよう心がけている。	
12		○就業環境の整備  代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	業務に対する姿勢を評価し、賞与にて反映している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>離島であるため、十分な外部研修は難しいが、できる範囲でおこなっている。また、外部講師を招き、施設内研修を実施している。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>最近では、甑島内での研修の機会も増えており、可能な範囲で参加しており、同業者との交流の機会も増えている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係  サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入所前より関係は始まっており、事前訪問やコミュニケーションを通して、なるべく環境の変化、精神面での変化が緩和できるよう配慮している。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係  サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入所前より利用者についての環境面や身体面、精神面を多く把握し、入所後の環境整備に配慮している。		
17		○初期対応の見極めと支援  サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	入所申込の段階で、その他のサービスについての説明を併せておこなっている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係  職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	「家庭的な雰囲気の中で」という理念は理解しているが、職員の都合で生活のペースが決まってしまうことがある。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族への状況報告はこまめにおこなうようにしており、ご家族が遠方在住の場合は、毎月の文書による状況報告や電話連絡をおこなっている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	友人宅への訪問希望時は、ご家族や相手先に事前確認してからおこなっており、買い物や美容室などについても、なじみの場所のできるよう対応している。	温泉や買い物、美容室など (の) ゆかりの場所やなじみの店、地域住民や知人・友人と継続的に交流が出来るように働きかけている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者が自室に閉じこもることがないように、お茶の時間やレクリエーションなど、交流の場を多く設けるようにしている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退所後の状態確認、面会などは随時おこなっている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	入所前の事前訪問や、入所後に本人の意向等を確認し、対応できるようにしている。	日々のかかわりの中で、希望や意向を把握できるように努めている。家族や関係者に対しても訪問・面談を通じて情報を得るように取り組んでいる。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入所前の生活環境からの変化がなるべく軽減できるよう、事前調査をおこなっている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	現状を確実に把握・理解し、利用者の生活リズムの把握につとめている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	毎月の職員会議やサービス担当者会議などにおいて検討している。	毎月定期的に開催している職員会議やサービス担当者会議の場などで、職員全員で意見を出し合い、利用者本人の現状に即した介護計画を作成している。	



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>個別記録を作成、記入し、情報共有を図るとともに、職員間での申し送り帳を作成、記入している。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>施設内サービスの柔軟化には取り組んでいる。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>当地域の最大の特徴である地域とのつながりを大切にし、地域行事への参加などおこなっている。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>入所前のかかりつけ医を入所後も継続し、往診をしてもらい、受診も事業所で対応している。</p>	<p>本人や家族が希望するかかりつけ医を受診出来るように対応している。通院に関しても可能な限り職員が支援出来るようにしている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>利用者に状態変化が見られた場合はすぐに看護職員へ連絡・報告し、看護職員により受診の対応、ご家族への連絡などおこなっている。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている</p>	<p>利用者が入院となると、島を離れ、本土医療機関への入院である。入院後は入院医療機関との密な連携、随時の面会などを通し、退院時のスムーズな退院・再入所につとめている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>看取りに対する重要性は十分理解してはいるが、体制的に困難な面が見られる。ただ、看取りについての研修は出来る限り対応している。</p>	<p>重度化や終末期に向けた対応については、研修に参加したり、事業所内で勉強会を開催し、職員間で話し合いを重ねている。また、入居時に利用者や家族に対しては、事業所の現状と方針を説明している。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>緊急時のマニュアルなどにより、慌てることなく確実に対応できるよう、職員会議などで随時確認している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	定期的な避難訓練の実施や、町がおこなう津波避難訓練への参加もおこなっており、近隣住民に協力をいただきながらおこなっている。	年2回避難訓練を行っている。運営推進会議の委員にも協力要請している。ホーム近くの住民には災害時の協力（委員）をお願いしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	地域性質上、職員と利用者・ご家族が昔からの知り合いという場合が多い。そのことにより、利用者・ご家族への言葉掛けも馴れ合いになる場合もあるため、随時確認している。	職員の利用者に対する接し方や会話が、馴れ合いにならないように、職員同士で確認している。利用者本人の気持ちを大切にし、プライバシーにも配慮したケアを心がけている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	利用者の意向や要望に早く気付くことができるよう、毎日のコミュニケーションは重要として捉え、対応している。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者の生活リズムを大事にするようには対応しているが、どうしても職員の都合により決まってしまうことがある。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	殆どの利用者は自己決定にて身だしなみをおこなっている。自己決定が困難な利用者については、職員が確認しながらおこなっている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	施設生活で最も楽しみにされているであろう食事を最大限に喜んでいただくため、地元ならではの食材を使用し、家庭的な料理を提供している。また、好き嫌いの把握を徹底している。	利用者の希望や嗜好を献立に反映できるように取り組んでいる。職員と利用者がホール中央のテーブルで一堂に会して楽しい雰囲気の中で食事（をすること）が出来ている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事・水分摂取量の細かい記録を確実におこない、全職員で共有し、協力医療機関やご家族と共に対応している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	全利用者が毎食後確実に口腔ケアを実施している。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄チェック表を作成し、排泄パターンの把握につとめ、トイレ誘導などをおこなっている。	排泄チェック表の作成や、個々の生活リズムを参考にして、一人ひとりの排泄パターンを把握し、それぞれに合わせた個別の排泄支援に努めている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	牛乳や食物繊維などの摂取、適度な運動などを通して、なるべく緩下剤を使用しないケアに取り組んでいる。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	入浴したい時間帯や曜日などを確認し、それに合わせて対応している。また、近所に温泉施設があり、希望者は職員同行にて温泉で入浴できる体制をとっている。	入浴日は決めているが、利用者の気分や健康状態、希望に合わせて可能な限り対応している。希望者は近くの温泉施設での入浴も出来る。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	夜間は精神的に不安になりやすいため、必要に応じて巡回回数を増やしたり、利用者の見られている前で施錠したりなど、少しでも安心感を与えられるよう取り組んでいる。		
47		○服薬支援 一人ひとりを使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬管理表を作成しており、その中で、薬の効用など明記しており、薬の変更や追加となった場合は、利用者へ説明している。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	集団的レクリエーションだけではなく、個別的レクリエーションにも取り組んでいる。また、全利用者での外出しての茶話会などもおこなっている。個別の外出も随時おこなっている。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	敷地内においては畑仕事や草取り、敷地外では馴染みの美容室や店への買い物、自宅訪問など、可能な限り対応している。	散歩や畑を見に行ったりして、気分転換を図っている。お花見や梅ちぎり、ドライブなどの行事を実施して積極的な外出支援を行っている。	
		○お金の所持や使うことの支援			

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	殆どの利用者がお小遣い程度のお金を自分で管理されており、買い物などおこなっている。		
51		○電話や手紙の支援  家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している	電話や手紙の希望があれば、柔軟に対応している。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり  共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を取り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	当施設では「臭い」を常に意識し、毎日の掃除などに取り組んでいる。また、季節を感じてもらえることができるよう、飾り物を工夫している。	七夕やクリスマス、誕生会などの季節の行事案内や飾りつけを利用者と職員が一緒に手作りして展示している。リビングや食堂は清潔で明るく快適でくつろげるスペースになっている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり  共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	狭いスペースではあるが、ソファを設置したりして、居場所を多く提供できるようにしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>居室にはなるべく慣れ親しんだ家具などを設置することができるよう配慮している。また、希望者には畳敷きも対応している。</p>	<p>利用者が安心して快適に暮らせるように、慣れ親しんだ家具を持ち込んだり、好みの室内空間づくりができるように配慮している。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>施設内は全てバリアフリーとなっており、移動などがスムーズに安全におこなうことができる環境となっている。</p>	/	/



**V アウトカム項目**

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
		○	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない

66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
		○	3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない